

会 議 議 事 録

会 議 名	河合町第9期介護保険事業計画策定委員会		
日 時	令和5年7月20日(木) 午前10時～	場 所	河合町役場3階 第6会議室
出 席 者 (敬称略)	佐藤利治委員、坂本博道委員、小野雅則委員、高岡宏芳委員、岡本幹男委員、東孝信委員、松岡伸夫委員、長むつみ委員、西川嘉一委員、岩崎勝重委員、上村卓也委員		
欠 席 者	土井真知子委員、藤岡禮子委員、奥村和也委員		
傍 聴 者	なし		
事 務 局	福祉部長 浮島龍幸、福祉政策課長 浦達三、福祉政策課 北浩至、浮島千春 (株)日本都市計画研究所 岩溪氏		
事 項	1. 開会あいさつ 2. 委員長及び副委員長の選出について 3. 委員長あいさつ 4. 議事 (1) 河合町高齢者福祉計画及び第9期介護保険事業計画の策定について (2) 河合町介護予防・日常生活圏域ニーズ調査について (3) その他		

〈開会あいさつ〉

(事務局)

定刻となりましたので河合町第9期介護保険事業計画策定委員会を開催させていただきます。委員長、副委員長の選任まで、事務局で会議の進行させていただきます。

本計画は、介護保険法第117条に基づき、市町村が定める3年を一期とする計画です。現計画の第8期計画は令和5年度が3年目となり、続いて令和6年度からの第9期の事業計画を策定することになります。河合町の人口動態や介護サービスの利用状況などを踏まえて、今後3年間のサービスの見込み量を推計し、それに対する保険料の基準額を定めるとともに、どのような施策を進めるかといった内容もございますので、委員の皆様には忌憚のないご意見をいただきたいと思っております。

本日は委員の半数以上の出席を頂いているため、「河合町介護保険事業計画策定委員会設置要綱第6条第1項」により成立するものであります。また、令和5年4月より施行の「河合町まちづくり自治基本条例第14条第3項」により委員会の内容は後日議事録として公表されますのでよろしくお願い申し上げます。

- 資料確認(資料1、資料2、参考資料、質問票)
- 委員紹介：出席委員11名、欠席委員3名(上記参照)
- 事務局紹介

〈委員長及び副委員長の選出について〉

○事務局一任（異議なし）

○委員長：東 孝信 ○副委員長：高岡 宏芳

〈委員長あいさつ〉

〈議事（1）・河合町高齢者福祉計画及び第9期介護保険事業計画の策定について〉

（事務局）

○資料：1 業務の基本的な考え方について説明

（委員長）

ただいまの説明について、ご意見、ご質問はありますか。

（委員）

日常生活圏域ニーズ調査についてはわかりましたが、在宅介護実態調査のほう（進捗）はどうなっていますか。

（事務局）

次の議題で説明する予定ですが、3年前と同じように在宅介護実態調査は西和地区7町で実施しています。なぜ、西和7町共同で実施するかといいますと、収集できるアンケート対象者が河合町単独で行うと数がそろわないということで西和地区7町で合同調査を行っています。調査結果に関しては集計結果ができ次第、報告いたします。

（委員）

（資料の中にある）「過去の調査結果との比較分析」で、リスクの部分において、グラフが高いほどリスクが高いのか、低いとどうなのかといった解説をお願いしたい。

（事務局）

お手元の資料は、河合町のデータではありません。説明のために使っています。また、今回の調査結果については調査後に作成する計画書に掲載いたします。

（委員）

（資料は）例ということですね。わかりました。

〈議事（2）・河合町介護予防・日常生活圏域ニーズ調査について〉

（事務局）

○介護予防・日常生活圏域ニーズ調査について説明

（町内在住・要支援1.2及び事業対象者の方対象）1000人を抽出

・郵送で実施

・60～70%の回収率を予定

○在宅介護実態調査の説明（西和地区7町で実施・集計中）917件

○参考資料

○資料：2 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査票の説明（河合町独自設問等の説明）

・計画の基礎資料とする

<調査の日程>

- ・8月に調査票の配布
- ・9月に調査票の回収・集計・分析
- ・10月に結果報告
- ・結果報告（委員に配布）

○事前配布質問票に対する説明（質問票参照）

（質問票1）

- ・質問：1（9ページ）地域活動への参加について設問追加⇒設問追加4）
- ・質問：2 今後の生活への不安や悩みについて⇒すでに質問があるので追加しない

（質問票2）

- ・質問：問1①日中一人になることがありますか、について頻度・時間を追加⇒追加しない
- ・質問：（3ページ）問2の選択肢について「できるし、している」を「できるし、行っている」に変更⇒国の設問なので変更しない
- ・質問：（7ページ）問4の選択肢「日常生活の中で助けてほしいことはありますか」の「4.病院への付き添い」に5.「病院への送迎」を追加してはどうか。⇒追加する
- ・質問：（11ページ）問（10）「あなたが、お手伝いできることはありますか」の回答選択肢について「4.通院の付き添い」⇒「4.病院の付き添い」、新たに選択肢「5.病院への送迎」を追加する
- ・質問：「8.近所での食事会」⇒省く

（委員）

（本人情報のページで）「宛名のご本人のお住まいの地区をお答えください」について、高塚台を1つくくっているが、7ページ、8ページの地域での活動されているところは（活動に）格差がある。それと星和和台公団地区など、地域活動しているところはあるが、お住まいの地区の選択肢に入っていない。もう少し、かみ砕いた方がよいのか・・・高塚台などは特に大きいからね・・・100%分けることはしんどいが、その辺は温度差があって、例えば高塚台1.3丁目と高塚2丁目とは全然違う（地域）今、18地区載っているが、あと少し細かくした方がわかりよいのではないかと。たとえば7ページ「地域での活動」や10ページの「たすけあい」については（地域によって違いがある）区分けについては検討してください。

（事務局）

もともと、郵便番号で区別していたが、高塚台1.3丁目と高塚台2丁目の区別はできますが・・・地区によっていろいろと変わってきますので、確かに違いを明確にするにはもう少し細かくする必要もあると思いますので、地区によって特徴、特色に違いがありますので地区の分け方については検討します。⇒（18地区を22地区に細分化）

（委員）

9ページの「(4) 参加、利用したことがある事業・・・」についてつきに一度「オレンジカフェ」をというのをやっています。これを選択肢に入れていただくことはできますか。利用者も少なく、認

知されていないのかと思っています。来ていただく人は来ていただいています、新規の方がいません。在宅の方もいらっしゃるの、入れていただいたらと思います。

(事務局)

今のご意見、認知症サポーターがされていることで、月一回やっていらっしゃることは聞いていますので、この機会に住民の方に知ってもらうために、またどれだけ参加されているのかデータとしても興味深いので選択肢に加えます。

(委員)

事前質問させていただいたところですが、私も介護予防事業などにいろいろと参加させていただいていますが、参加されている方に比重を置くというよりは、どちらかというと参加してない方のなぜ参加していないのか、なぜしたくないのか、というところをもう少し追及したほうがいいのではという点も踏まえて、今回、一つ目ですが一項目入れていただけるということで、すごくありがたいです。二つ目は入れていただくには正直難しいかなというところもありましたが、現在の(状況)を聞くのも大事で、やはり今後のことを聞くのも大事ではないかというところから、問9のその他のところで今後の生活やお考えなどを聞いているところはよいのではと思います。・以上感想になります。

(委員)

全体的なことでは教えてほしいのですが、先ほど在宅介護実態調査で説明があった件ですが、西和7町で調査はすでに終わっているが、出来れば数は少ないにしても河合町の数値が知りたいと思います。もう一つはニーズ調査ですが全体1000人ということですが、一応3つの層(要介護認定を受けていない方、要支援1.2の方、事業対象者の方)から無作為抽出法でされると思いますがその辺のところを教えてもらいたいと思います。

(事務局)

在宅介護実態調査はすでに西和7町で終わっています。河合町の結果数値だけ出してほしいということですが、集計結果についてまだ手元にありませんが河合町の集計結果が出るのであれば出していただきますが、詳細については後日報告いたします。二つ目の質問については、無作為抽出ですが地域差が出ないように、65歳以上でアンケートの対象条件の方が地域ごとに何人おられるかを出しまして、それを1000人に按分し、地域ごとに人数を無作為に割り出しました。

(委員)

災害に関する質問(災害時の対応等)について11ページの(10)にあってもよいのではないかと。5ページ問4、10ページ問6、そのほかに入らないか。

(委員)

他の自治体のアンケートではほとんど災害時対応の項目は入っています。

(委員長)

災害対策については事務局一任ということではいかがでしょうか。

(事務局)

事務局一任ということですので、検討いたします。

(委員長)

他に、ご意見がなければ事務局にお返しします。

閉会 (11時20分)